

## I 3市のごみ量の現況

2020年度に、各市とも資源物が軒並み増加している。その背景には、コロナ禍による“巣ごもり”で家庭内飲食や断捨離が増え、また、定額給付金によって家電製品の買い替えが発生したことがある。その上、日野市が2020年1月から製品プラを含むプラスチック類の全量資源化を開始し、また、国分寺市が7月からペットボトルの収集を手狭になった公共施設での拠点収集から、戸別収集（2週に1回）へ移行している。一方、小金井市では、これまで民間処理施設で処理していた事業者の一部が浅川清流環境組合可燃ごみ処理施設に搬入し始めており、可燃ごみが増加している。

排出されるごみの約7割は処分ごみで、そのほとんどが焼却処分されており、これを如何にして削減していくかが課題。

		日野市			国分寺市			小金井市		
		2019年度	2020年度	増減率 (%)	2019年度	2020年度	増減率 (%)	2019年度	2020年度	増減率 (%)
ごみ量 (t)	可燃ごみ	27,020	26,997	-0.1	17,269	16,942	-1.9	12,327	13,855	+12.4
	不燃ごみ	4,369	1,721	-60.6	1,710	1,866	+9.1	3,693	4,011	+8.6
	粗大ごみ	1,396	1,471	+5.4	950	1,102	+16.0	1,011	1,084	+7.2
	有害ごみ	67	69	+3.0	44	46	+4.5	42	46	+9.5
	以上処分ごみ計	32,852	34,258	+4.3	19,973	19,956	-0.1	17,073	18,996	+11.3
	資源物	9,790	12,917	+31.9	8,773	9,305	+6.1	8,696	9,139	+5.1
	合計	42,642	43,175	+1.2	28,746	29,261	+1.8	25,769	28,135	+9.2
人口(人) (10月1日現在)		186,285	186,992	+0.4	124,962	126,432	+1.2	122,270	123,427	+0.9
1人1日当たり総ごみ量(g/人日)		625.4	640.5	+15.1g	628.5	634.1	+5.6g	576.8	624.5	+47.7g
1人1日当たり処分ごみ量(g/人日)		481.8	501.9	+20.1g	436.7	432.4	-4.3g	381.5	421.7	+40.2g
資源化率(%)		23.0	29.9	+6.9p	30.5	31.8	+1.3p	33.7	32.5	-1.2p
主な資源物内訳 (t)	紙類・紙パック	5,385	5,638	+4.7	3,882	4,118	+6.1	4,656	4,802	+3.1
	布類	1,034	1,176	+13.7	605	714	+18.0	598	706	+18.1
	かん・鉄・アルミ	365	425	+16.4	355	422	+18.9	440	473	+7.5
	びん	1,219	1,350	+10.7	1,038	1,092	+5.2	961	1,044	+8.6
	ペットボトル	374	406	+8.6	96	204	+112.5	350	371	+6.0
	プラスチック類	838	3,239	+286.5	2,351	2,307	-1.9	2,199	2,003	-8.9
	小型家電・金属類	409	559	+36.7	92	94	+2.2	109	118	+8.3

※資源物量には、収集後資源化量と集団回収量は含まれない。

## Ⅱ 3市のごみ減量・資源化の取り組みの現状

### 1 生ごみの減量・資源化

★印は促進策

	日野市	国分寺市	小金井市
生ごみの発生抑制 (食品ロス削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生ごみを出さない取り組み 3切り(使い切り・食べ切り・水きり)を「エコ」、講演会、エコッキング講座で啓発。</li> <li>●フードドライブ 社会福祉協議会が市内4ヵ所に回収・提供拠点を設置。産業まつりでも実施。</li> <li>●飲食店での食べ切り(3010運動) ポスター、商工会を通じて呼びかけ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生ごみを出さない取り組み 3きり(使いきり・食べきり・水きり)をごみカレンダー、市報等で呼びかけ。</li> <li>●フードドライブ ・月1回程度公民館、地域センターで拠点収集。 ・社会福祉協議会では常時受け付け。毎年12月に国分寺環境まつりでも実施。</li> <li>●飲食店での食べ切り(3010運動) 市報等で啓発。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生ごみを出さない取り組み 買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない、水を切るをごみカレンダー、市報等で呼びかけ。</li> <li>●フードドライブ 毎月第2水曜日に社会福祉協議会前で拠点回収。なかよし市民まつりでも実施。</li> <li>●飲食店での食べ切り(2020運動) ★食品ロス削減推進協力店・事業所認定制度 三角柱POPを推奨。</li> </ul>
生ごみ自家処理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●庭や畑への埋立</li> <li>●ダンボールコンポストによる堆肥化 「生ごみリサイクルサポーター連絡会」が使い方講習会、各種イベントでの展示・説明、「エコ」などを通じて普及活動を行っている。</li> <li>★生ごみ処理機器購入費補助制度 ダンボールコンポストセットは自己負担500円</li> </ul>	<p>「ごみけしくん」による堆肥化</p> <p>★生ごみ処理機器購入費補助制度</p> <p>「ごみけしくん」は自己負担3,000円 その他は購入金額の2/3</p>	<p>①一般家庭では生ごみ処理機器で処理</p> <p>★生ごみ処理機器購入費補助制度 購入金額の80%</p> <p>②一部の小中学校の大型生ごみ処理機へ家庭生ごみを投入(夏休み・毎週土曜日)</p> <p>③集合住宅では大型生ごみ処理機で処理</p> <p>★大型生ごみ処理機器購入費補助制度</p>
生ごみ分別収集・資源化	<ul style="list-style-type: none"> <li>●せせらぎ農園 2008年9月に「まちの生ごみを考える会」が新井に開設。周辺住民とともに、約160世帯が抗酸化バケツに入れて保管する生ごみを週1回戸別回収し、約650坪の畑に直接すき込んで土ごと発酵させ、野菜や草花を栽培。 生ごみ地域内循環のモデルとして、また、地域住民の居場所や農体験を通じた食育や環境教育の場として、各方面から注目されており、毎年市内外から約2,500名の見学者が来訪。市の委託事業。 区画整理のため、2021年3月をもって閉鎖されるが、市が代替地を確保し、そこへ移転の予定。</li> </ul>	<p>下記の2ルートで約1,000世帯の生ごみを収集、民間堆肥化施設で堆肥化。堆肥は市民へ配布。</p> <p>①個人を対象とした拠点収集 清掃センター、第二・第四小学校、本多公民館の4ヵ所に生ごみ収集ボックスを設置し、週2回収集。生ごみはブラ袋に入れて持ち込む。</p> <p>②団体を対象とした集積所収集 6世帯以上の団体が対象。各家庭で生ごみを抗酸化バケツに入れて保管し、週2回集積所に設置された生ごみ収集ボックスに投入し、収集業者が中身の生ごみだけを集める。</p>	<p>乾燥式生ごみ処理機による生成物(生ごみ乾燥物)を下記の3つのルートで収集し、民間堆肥化施設で堆肥化。堆肥は市内農家や市民へ配布。</p> <p>①公共施設(11ヵ所)での拠点収集</p> <p>②家庭からの戸別収集</p> <p>③大型生ごみ処理機による生成物の収集 ・小中学校・保育園(19ヵ所) ・集合住宅(7ヵ所) ・市施設(1ヵ所)</p>

## 2 剪定枝・落ち葉・草の分別収集・資源化

	日野市	国分寺市	小金井市
剪定枝	<p>●戸別収集（無料） 可燃ごみ収集日（週2回）に束ねて排出。1回2束まで。小枝や草、落ち葉は可燃ごみ。</p> <p>●拠点収集（無料） 公園や公共施設 20 ヲ所で月1回収集。束ねて排出。 指定日時以外の持ち込みや、太い幹や根などの不法投棄が後を絶たないことから、2020 年 12 月をもって廃止し、戸別収集へ一本化。</p>	<p>●戸別収集（無料） 2021 年度から、2 週に 1 回の収集に変更。束ねて排出。</p>	<p>●戸別収集（無料） 2 週に 1 回収集。束ねて排出。</p>
落ち葉・草	<p>●拠点収集（無料） 落ち葉は袋に入れて排出。草・花・竹は対象外。 2020 年 12 月をもって廃止、可燃ごみへ。</p>	<p>●戸別収集（無料） もやせるごみ収集日（週2回）に袋に入れて排出。 2021 年度からは、剪定枝と同時に収集。</p>	<p>●戸別収集（無料） 剪定枝と同時に収集。袋に入れて排出。</p>
収集量	<p>拠点収集分は年間約 200 t。「ごみゼロプラン」では、2021 年度までに年間 1,300 t 以上が目標。</p>	<p>剪定枝は 2019 年度（申込制）169 t。 2021 年度からは、剪定枝・落ち葉・下草で年間 1,500 t が目標。</p>	<p>枝木・雑草類・落ち葉で 2019 年度 1,550 t。</p>
資源化	<p>拠点収集分で資源化可能なものと、公共施設排出分を民間施設でチップ化。当面は公共施設排出分のみ。</p> <p>「ごみゼロプラン」では、2021 年度までに拡大を計画。剪定枝・落ち葉・草の資源化が急務。</p>	<p>剪定枝・落ち葉・下草を民間施設で堆肥化とバイオマス発電施設の燃料に。</p>	<p>枝木・雑草類・落ち葉を造園業者で積み替え民間施設へ搬入し、チップ化。粗いものはバイオマス発電用燃料に、細かいものは牧場等で堆肥化。</p>

### 3 プラスチックごみの減量・資源化 ★印は促進策

	日野市	国分寺市	小金井市
発生抑制	★各種媒体・イベント等での啓発 ・マイバッグ・マイボトルの持参 ・使い捨てプラ製品は使わない ・ばら売りや簡易包装や詰め替え用パックを選ぶ ★レジ袋無料配布中止に向けた共同会議 レジ袋無料配布中止とマイバッグ持参を推進。 ★テイクアウト用紙製容器を飲食店に無料配布 (2020年11月～2021年3月) (環境保全課)	★各種媒体・イベント等での啓発 ・マイボトル・マイボトルの使用 ・使い捨て商品の使用自粛 ・過剰包装の自粛 ★3R講座 廃棄物減量等推進委員会と協働して開催	★各種媒体・イベント等での啓発 ・マイバッグ・マイボトルの利用 ・使い捨てのものを使わない ・過剰包装は断る
店頭回収・拠点収集	●店頭回収(スーパー23店舗) ペットボトル、食品トレイ ★「容器包装お返し大作戦！」のキャンペーンで “買い物は行きも帰りもマイバッグ”の呼びかけ ★ドラッグストアにも店頭回収を働きかける	●店頭回収(スーパー10店舗) ペットボトル、食品トレイ ★リサイクル推進協力店制度により推進 ★ドラッグストアにも店頭回収を働きかける ●拠点収集(公共施設) 2020年7月からペットボトルの拠点収集を中止し、戸別収集へ移行。行政収集量は約2倍に	●店頭回収(スーパー最大12店舗) ペットボトル、食品トレイ ★リサイクル推進協力店認定制度により推進 ●拠点回収(公共施設) ペットボトル、食品トレイ、ペットボトルキャップ
リユース食器の使用	イベントでリユース食器・マイ食器の使用推奨		★イベントでリユース食器を無料貸し出し
分別排出	●プラスチックごみ ・2020年1月に容器包装プラ・製品プラの混合分別排出を開始 ・他の素材との複合品は表面積の大きい方に分別 ・汚れを取り除けないもの→可燃ごみへ ●ペットボトル キャップ・ラベルをはずす→プラごみへ ★“できるだけ汚れを取り除いて資源物に” ★ごみ相談窓口 市役所本庁舎に常設、相談員配置	●プラスチックごみ ・容器包装プラを分別排出 ・製品プラ、汚れの落ちないもの→もやせないごみへ ●ペットボトル キャップ・ラベルをはずす→プラごみへ ★“分ければ資源、混ぜればごみ” ★ごみ分別よろず相談所・ごみ分別説明会 廃棄物減量等推進委員会等と協働で実施 直近の参加人数1,300名/年	●プラスチックごみ ・容器包装プラ・製品プラを混合分別排出 ・他の素材との複合品、汚れが落ちないもの→燃やさないごみへ ●ペットボトル キャップ・ラベルを取り除く→プラごみへ ★“分ければ資源、混ぜればごみ” ★ごみ相談員制度 ごみゼロ化推進員の協力のもとに実施
分別収集	●プラスチックごみ プラごみを一括戸別収集(有料・週1回) ●ペットボトル 戸別収集(4週に1回)。店頭回収利用促進のため	●プラスチックごみ 容器包装プラを戸別収集(週1回) ●ペットボトル 戸別収集(2週に1回)	●プラスチックごみ プラごみを一括戸別収集(有料・週1回) ●ペットボトル 戸別収集(2週に1回)
資源化	●プラスチックごみ 2020年1月からプラ資源化施設が稼働。風力選別機で選別し、容器包装プラは容器包装リサイクル協会、製品プラは資源化業者へ ●ペットボトル 容器包装リサイクル協会へ	●プラスチックごみ 容器包装プラを容器包装リサイクル協会へ ●ペットボトル 容器包装リサイクル協会または資源化業者へ	●プラスチックごみ 中間処理場で積み替え後、民間選別保管施設に搬入。容器包装プラは容器包装リサイクル協会へ ●ペットボトル 容器包装リサイクル協会へ

#### 4 紙ごみの減量・資源化

★印は促進策

	日野市	国分寺市	小金井市
発生抑制	★各種媒体等での啓発 ・過剰包装は断る ・使い捨て紙製品はなるべく使わない	★各種媒体等での啓発 ・過剰包装の自粛 ・使い捨て商品の使用自粛 ★3R講座 廃棄物減量等推進委員会と協働して開催	★各種媒体等での啓発 ・過剰包装は断る ・使い捨てのものを使わない
民間回収 ・拠点収集	●店頭回収・販売店回収 紙パック、新聞 ★「容器包装お返し大作戦！」のキャンペーン実施 ●集団回収（比率 19.1%）（109 団体） 新聞、雑誌・雑紙、段ボール、紙パック	●店頭回収・販売店回収 牛乳パック、新聞 ★リサイクル推進協力店制度により推進 ●集団回収（比率 42.1%）（185 団体） 新聞、雑誌・雑紙、段ボール、牛乳パック	●店頭回収・販売店回収 紙パック、新聞 ★リサイクル推進協力店認定制度により推進 ●拠点収集（公共施設） 紙パック、難再生古紙 ●集団回収（比率 22.6%）（145 団体） 新聞、雑誌、段ボール、紙パック
分別排出	●新聞 ひもでしばって出す ●雑誌・雑紙 ・禁忌品→可燃ごみ ・窓付き封筒の窓の部分（ビニール）→プラごみ ・ひもでしばって出す ●段ボール ・茶封筒など茶色の紙全般 ・金色・銀色の絵や字があるもの、ガムテープ→可燃ごみ ホチキス→不燃ごみ ・ひもでしばって出す ●紙パック ・内側がアルミ→可燃ごみ ・洗って、切り開いて、ひもでしばって出す ★“名刺大以上の紙は雑紙に（汚れている紙や特殊な紙を除き）” ★ごみ相談窓口 市役所本庁舎に常設、相談員配置（2020 年度末で廃止を検討中）	●新聞 ひもでしばって出す（袋に入れない） ●雑誌・雑紙 ・禁忌品→もやせるごみ ・シュレッダー紙可 ・ひもでしばるか、紙袋や透明・半透明の袋に入れて出す ●段ボール ・防水加工・アルミ貼り・油污れのもの、粘着テープ→もやせるごみ 金属→もやせないごみ ・ひもでしばって出す ●紙パック ・内側が茶色・銀色→もやせるごみ ・洗って、切り開いて、ひもでしばって出す ★“分ければ資源、混ぜればごみ” ★ごみ分別よろず相談所・ごみ分別説明会 廃棄物減量等推進委員会等と協働で実施 直近の参加人数 1,300 名/年	●新聞、雑誌 紙ひもでしばって出す（袋に入れない） ●ざつがみ ・禁忌品→燃やすごみ ・紙袋に入れ、紙ひもでしばって出す ★ざつがみリサイクル袋配布（ごみ対策課・公民館） ●段ボール ・防水加工・特殊加工をしたもの、テープ→燃やすごみ 金具→燃やさないごみ ・紙ひもでしばって出す ●紙パック ・内側が白色以外→燃やすごみ ・洗って、切り開いて、紙ひもでしばって出す ●シュレッダー紙 透明・半透明の袋に入れて出す ●難再生古紙→拠点収集（8 t/年） 防水加工紙や内側が白色以外の紙パックも可 ★“1cm 四方以上の紙であれば資源に” ★ごみ相談員制度 ごみゼロ化推進員の協力のもとに実施
分別収集	●戸別収集 ・雑誌・雑紙、段ボール、紙パック（2 週に 1 回） ・新聞（販売店回収利用促進のため 4 週に 1 回）	●戸別収集 新聞、雑誌・雑紙、段ボール、紙パック（2 週に 1 回）	●戸別収集 新聞・雑誌・雑紙・段ボール・紙パック・シュレッダー紙同時収集（週 1 回）
資源化	●資源化ルート 古紙問屋（選別・梱包）→製紙工場→紙加工工場 ★日野ブランドトイレットペーパー「帰ってきたぞう」に再生	●資源化ルート 古紙問屋（選別・梱包）→製紙工場→紙加工工場 ★オリジナルトイレットペーパー「こくぶんじ育ち」に再生	●資源化ルート 古紙問屋（選別・梱包）→製紙工場→紙加工工場

5 その他のごみの減量・資源化 ★印は促進策

	日野市	国分寺市	小金井市
発生抑制	★各種媒体等での啓発 ・必要最小限しか買わない ・長く使い続ける	★各種媒体等での啓発 ・本当に必要なものを買う ・長く使えるものを選ぶ ★3R講座 廃棄物減量等推進委員会と協働して開催	★各種媒体等での啓発 ・余分なものは買わない ・マイはし ・長く使い続ける
店頭回収・拠点収集・集団回収等	●店頭回収（9店舗） 飲料かん ●集団回収 古着・古布、かん、びん	●拠点収集（公共施設・清掃センター） 陶磁器、金物、小型家電、廃食用油、ぬいぐるみ、かばん、靴、ベルト ●宅配便回収（小型家電リサイクル法認定事業者） 小型家電、パソコン ●集団回収 衣類・布類、カン、ビン	●拠点回収（公共施設・中間処理場） 空き缶、くつ、かばん、ベルト、ぬいぐるみ ●宅配便回収（小型家電リサイクル法認定事業者） 小型家電、パソコン ●集団回収 布類、空き缶、びん
不用品リユースの仲介	★リサイクル事務所（シルバー人材センター運営） ★ひの市民リサイクルショップ回転市場（市民グループ運営）	★リサイクルコーナー（不用品リユースの仲介） ★フリーマーケットの実施（環境まつり） ★もったいない食器市の実施（環境まつり）	★不用品交換コーナー（市役所庁舎内） ★フリーマーケットの支援
分別排出	●古着・古布 ・ファスナーやボタンはつけたまま ・汚れている者→可燃ごみ ・ビニール袋に入れて出す ●かん ・すすぐ・異物は入れない ・つぶさない ・かごなどに入れて出す（袋には入れない） ●びん ・コップ、ガラス等→不燃ごみ ・キャップをはずす ・すすぐ・異物は入れない ・かごなどに入れて出す（袋に入れたい） ●小型家電・金属 ★“資源物はごみにしない（ごみへの混入を点検）”	●衣類・布類 ・ボタンやファスナーはつけたまま ・汚れているもの→もやせるごみ ・透明・半透明の袋に入れて出す ●カン ・軽く水洗いする ・かごなどに入れて出す（袋に入れたい） ●ビン ・割れたびん、コップ、ガラス等→もやせないごみ ・フタ・キャップをはずす ・軽く水洗いする ・かごなどに入れて出す（袋に入れたい） ●陶磁器、金物、小型家電、廃食用油、ぬいぐるみ、かばん、靴、ベルト ★分別徹底の呼びかけ ★ごみ分別よろず相談所 廃棄物減量等推進委員会と協働で実施	●布 ・ボタンやファスナーはつけたまま ・透明・半透明の袋に入れて出す ●空き缶 ・中を洗う ・つぶさない ・かごなどに入れて出す（袋に入れたい） ●びん ・割れたものも可 ・コップ、ガラス等→燃やさないごみ ・フタ・キャップは取り除く ・中を洗う ・かごなどに入れて出す（袋に入れたい） ●金属、くつ、かばん、ベルト、ぬいぐるみ ★“資源になるものは捨てずに再生利用” ★ごみ相談員制度 ごみゼロ化推進員の協力のもとに実施
分別収集	●戸別収集 ・古着・古布、かん、びん（2週に1回） ・小型家電・金属（4週に1回）	●戸別収集 ・衣類・布類、カン・ビン（2週に1回）	●戸別収集 ・布（週1回） ・空き缶・金属、びん（2週に1回）
資源化	●古布 民間中間処理施設で選別→資源化施設 ●かん 民間中間処理施設で選別→資源化施設 ●びん クリーンセンターで選別→資源化施設	●布類 民間中間処理施設で選別→資源化施設 ●カン 清掃センターで選別→資源化施設 ●ビン 清掃センターで選別→資源化施設	●布 中町中間処理施設で選別→資源化施設 ●空き缶 中町中間処理施設で選別→資源化施設 ●びん 民間中間処理施設で選別→資源化施設

## 6 事業系持込ごみ削減の枠組み

### ★印は促進策

	日野市	国分寺市	小金井市
持込事業者の該当条件	ごみ総排出量 1 回 90ℓ 超（90ℓ 以下の小規模事業所は、行政が事業所専用指定収集袋で収集）	ごみ総排出量 1 日 10kg 以上（10kg 未満の小規模事業所は、行政が事業所専用指定収集袋で収集）	ごみ総排出量 1 日 10kg 以上（10kg 未満の小規模事業所は、行政が事業所専用指定収集袋で収集）
受入ごみの種類 （浅川清流環境組合）	可燃性ごみのみ 不燃性ごみ、資源物、有害ごみ、産業廃棄物（廃プラ等）は受け入れない		
搬入物検査 （浅川清流環境組合）	・収集運搬許可業者や排出事業者が事業系ごみを搬入した際に、抜き打ちで搬入物を破袋・展開して、処理不適物の混入をチェック ・運営会社の浅川環境テクノロジーが週 1 回、3 市合同立ち会いで月 2 ～ 3 回実施		
処理手数料	2011 年 4 月 25 円/kg→42 円/kg	2020 年 4 月 35 円/kg→42 円/kg	2020 年 4 月 55 円/kg→42 円/kg
多量排出事業者の指導 （廃棄物処理条例で規定）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多量排出事業者の該当条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用建築物の延床面積が 3,000m<sup>2</sup>以上の事業者</li> <li>・79 ヲ所</li> </ul> </li> <li>●廃棄物管理責任者の選任・届出実施</li> <li>●「廃棄物の減量及び再利用に関する計画書」の提出（条例で規定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの種類別の発生量、再利用率、処理量の前年度実績、本年度計画・目標などを記載</li> <li>・毎年 5 月末までに提出</li> </ul> </li> <li>●ごみ保管場所の設置・届出 廃棄物と再利用対象物の分別保管、表示を規定。 建設時に設置届</li> <li>●立入検査 条例に改善勧告の規定あり。必要に応じて改善指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多量排出事業者の該当条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用建築物の延床面積が 3,000m<sup>2</sup>以上の事業者</li> <li>・33 ヲ所</li> </ul> </li> <li>●廃棄物管理責任者の選任・届出実施</li> <li>●「廃棄物の減量及び再利用に関する計画書」の提出（条例で規定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの種類別の排出量、処理量、再利用率の前年度実績、本年度見込み・目標などを記載</li> <li>・毎年 5 月末までに提出</li> </ul> </li> <li>●ごみ保管場所の設置・届出 廃棄物と再利用対象物の分別保管、表示を規定。 建設時に設置届</li> <li>●立入検査 条例に改善勧告の規定あり。立入検査はせず</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●多量排出事業者の該当条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業用建築物の延床面積が 1,500m<sup>2</sup>以上の事業者</li> <li>・83 ヲ所</li> </ul> </li> <li>●廃棄物管理責任者の選任・届出実施</li> <li>●「廃棄物の減量及び再利用に関する計画書」の提出（条例で規定） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの種類別の排出量、処理量、再利用率の前年度実績、本年度見込み・目標などを記載</li> <li>・毎年 5 月末までに提出</li> </ul> </li> <li>●ごみ保管場所の設置・届出 条例・規則に規定</li> <li>●立入指導 ごみ保管場所へ立ち入って、ごみの分別状況をチェックし、それに基づいて分別・リサイクル方法の指導を実施。毎年度実施</li> </ul>
分別・資源化の啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ組成調査結果の周知</li> <li>・食品廃棄物の資源化</li> <li>・廃プラの適正な分別・処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ組成調査結果の周知</li> <li>・食品ロスの削減</li> <li>・流通包装廃棄物の排出抑制</li> <li>・事務系廃棄物の資源化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ組成調査結果の周知</li> <li>・3 R の推進</li> <li>・食品ロスの削減</li> <li>★事業用生ごみ処理機器購入費補助制度</li> </ul>
ごみ減量・リサイクル 協力店認定制度		★リサイクル推進協力店制度	★リサイクル推進協力店認定制度 ★食品ロス削減推進協力店・事業所認定制度

# 7 ごみ減量・資源物の分別徹底を促す動機付け（１）

※啓発手段については、情報グループに譲る。

		日野市	国分寺市	小金井市
意識向上に 向けた啓発	世界共通の目標 （SDGs）	・地球温暖化の防止（脱炭素） ・海のプラスチック汚染防止 ・食品ロスの削減 ・資源の有効活用	・地球温暖化の防止（脱炭素） ・海のプラスチック汚染防止 ・食品ロスの削減 ・資源の有効活用	・地球温暖化の防止（脱炭素） ・海のプラスチック汚染防止 ・食品ロスの削減 ・資源の有効活用
	3市の目標・課題	・ごみゼロ（焼却・埋立ごみゼロ）の実現 ・ごみを出さないライフスタイルへの転換 ・焼却施設周辺住民の理解と協力への感謝と、 焼却ごみ削減による周辺環境負荷の軽減	・循環型都市の実現 ・ごみの発生を減らすライフスタイルへの転換 ・焼却施設周辺住民の理解と協力への感謝と、 焼却ごみ削減による周辺環境負荷の軽減	・循環型都市・ごみゼロタウンの実現 ・ごみを出さないライフスタイルの推進 ・焼却施設周辺住民の理解と協力への感謝と、 焼却ごみ削減による周辺環境負荷の軽減
行動を促進するための啓発・仕組み  ★印は仕組み	生ごみ・剪定枝等	発生抑制	●生ごみを出さない ・3切り（使い切り・食べ切り・水きり） ●余っている食品はフードドライブへ ●飲食店では食べ切る（3010 運動）	●生ごみを出さない 買いすぎない、作りすぎない、食べ残さない、水を切る ●余っている食品はフードドライブへ ●飲食店では食べ切る（2020 運動）
		自家処理	●庭や畑への直接埋立 ●ダンボールコンポストによる堆肥化 ・簡単に使え、安価なので手軽に始められる ・通気性に優れ、腐敗しないので臭わない ・できた堆肥を使えば、野菜や花が元気に育つ ★生ごみ処理機器購入費補助制度の利用	「ごみけしくん」による堆肥化 ・“1日5分で環境のためにできる” ・臭いと虫を抑え、不快感なく生ごみを処理 ・できた堆肥は植物を育てる土として使える ★生ごみ処理機器購入費補助制度の利用
		分別収集・資源化	せせらぎ農園の特徴 ・生ごみ地域内循環のモデル ・地域住民の楽しい居場所 ・農体験を通じての食育や環境教育の場	2つのルートで分別排出 ①個人を対象とした拠点収集 ②団体を対象とした集積所収集
		剪定枝等の分別排出	剪定枝の分別排出	剪定枝・落ち葉・草の分別排出
	プラスチックごみ	発生抑制	・マイバッグを持参し、レジ袋は断る ・ペットボトル入り飲料はなるべく買わない ・使い捨てプラ製品は使わない ・ばら売りや簡易包装、詰め替え用パックを選ぶ	・マイバッグの持参 ・マイボトルの使用 ・使い捨て商品の使用自粛 ・過剰包装の自粛
		店頭回収・拠点収集の利用	ペットボトル・食品トレイは店頭回収へ ・容器包装の回収は販売者の責任 ・税金による収集処理費用の低減 ・“買い物は行きも帰りもマイバッグ”	ペットボトル・食品トレイは店頭回収へ
		再使用	イベントではリユース食器・マイ食器を使用	
		分別排出	ペットボトル・プラごみは戸別収集へ ・ごみへの資源物の混入状況の周知 ・“できるだけ汚れを取り除いて資源物に” ・ごみ排出前に資源物混入を点検	ペットボトル・プラごみは戸別収集へ ・ごみへの資源物の混入状況の周知 ・“分ければ資源、混ぜればごみ”



## 7 ごみ減量・資源物の分別徹底を促す動機付け（2）

			日野市	国分寺市	小金井市
行動を促進するための啓発・仕組み ★印は仕組み	紙しめ	発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過剰包装は断る</li> <li>・使い捨て紙製品はなるべく使わない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過剰包装の自粛</li> <li>・使い捨て商品の使用自粛</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過剰包装は断る</li> <li>・使い捨てのものを使わない</li> </ul>
		民間回収・拠点収集の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙パック・新聞は店頭回収・販売店回収へ</li> <li>・古紙は集団回収へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・牛乳パック・新聞は店頭回収・販売店回収へ</li> <li>・古紙は集団回収へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙パック・新聞は店頭回収・販売店回収へ</li> <li>・難再生古紙は拠点収集へ</li> <li>・古紙は集団回収へ</li> </ul>
		分別排出	古紙は戸別収集へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみへの資源物の混入状況の周知</li> <li>・“名刺大以上の紙は雑紙に”</li> <li>・ごみ排出前に資源物混入を点検</li> </ul>	古紙は戸別収集へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみへの資源物の混入状況の周知</li> <li>・“分ければ資源、混ぜればごみ”</li> </ul>	古紙は戸別収集へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみへの資源物の混入状況の周知</li> <li>・“1cm四方以上の紙であれば資源に”</li> </ul> ★ざつがみりサイクル袋配布
		再生品の利用	日野ブランドトイレットペーパー「帰ってきたぞう」の利用	オリジナルトイレットペーパー「こくぶんじ育ち」の利用	
	その他のごみ	発生抑制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要最小限しか買わない</li> <li>・長く使い続ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本当に必要なものを買う</li> <li>・長く使えるものを選ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・余分なものは買わない</li> </ul>
		民間回収・拠点収集の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲料かんは店頭回収へ</li> <li>・古着・古布・かん・びんは集団回収へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陶磁器・金物・小型家電・廃食用油・ぬいぐるみ・かばん・靴・ベルトは拠点収集へ</li> <li>・小型家電は拠点収集・宅配便回収へ</li> <li>・パソコンは宅配便回収へ</li> <li>・衣類・布類・カン・ビンは集団回収へ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き缶は拠点収集・集団回収へ</li> <li>・くつ・かばん・ベルト・ぬいぐるみは拠点収集へ</li> <li>・小型家電・パソコンは宅配便回収へ</li> <li>・布・びんは集団回収へ</li> </ul>
		再使用	★リサイクル事務所（家具、家電製品、健康器具、食器類など）の活用 ★ひの市民リサイクルショップ回転市場（衣類、日用雑貨など）の活用 ・リユースショップやフリーマーケット、ネットオークションの利用	★リサイクルコーナー（ごみ減量推進課）の活用 ★リサイクル家具販売会（清掃センター）の活用 ★フリーマーケット（環境まつり）の活用 ★もったいない食器市（環境まつり）の活用	★不用品交換コーナー（市役所庁舎内）の活用 ・リユースショップやフリーマーケット、ネットオークションの利用
		分別排出	古着・古布・かん・びん・小型家電・金属は戸別収集へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみへの資源物の混入状況の周知</li> <li>・“資源物はごみにしない”</li> <li>・ごみ排出前に資源物混入を点検</li> </ul>	衣類・布類・カン・ビンは戸別収集へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみへの資源物の混入状況の周知</li> <li>・“分ければ資源、混ぜればごみ”</li> </ul>	布・空き缶・金属・びんは戸別収集へ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみへの資源物の混入状況の周知</li> <li>・“分ければ資源、混ぜればごみ”</li> </ul>
		分別・資源化の指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ組成調査結果の周知</li> <li>・食品廃棄物の資源化</li> <li>・廃プラの適正な分別・処理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ組成調査結果の周知</li> <li>・食品ロスの削減</li> <li>・流通包装廃棄物の排出抑制</li> <li>・事務系廃棄物の資源化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業系ごみ組成調査結果の周知</li> <li>・3Rの推進</li> <li>・食品ロスの削減</li> </ul> ★事業用生ごみ処理機器購入費補助制度の利用
	事業系持込ごみ	ごみ減量・リサイクル協力店認定制度	★「日野市プラスチック・スマート宣言」の取組みに賛同し、テイクアウト用非プラ素材容器導入した店舗の「公式マーク」	★リサイクル推進協力店の拡大	★リサイクル推進協力店の拡大 ★食品ロス削減推進協力店・事業所の拡大

## 8 ごみ減量・資源化推進のための協働体制

	日野市	国分寺市	小金井市
協議体	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ減量・リサイクル等推進協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみ減量推進市民会議を発展的に解消し新設</li> <li>・発足：2021年10月</li> <li>・役割：①ごみゼロプランのプログラムの進捗・達成状況の確認、見直し・改善の助言 ②ごみ減量・リサイクルに向けての情報交換、施策の提案、周知活動への参加</li> <li>・構成員：活動組織代表、公募市民、事業者、大学研究室・サークル、収集業者、プラ施設運業者、行政</li> <li>・活動組織と連携</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物の減量及び再利用推進審議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発足：1993年</li> <li>・役割：以下の事項について、市長の諮問に応じ審議・答申 <ol style="list-style-type: none"> <li>①分別収集の実施方法</li> <li>②廃棄物の減量・再利用の方策</li> <li>③廃棄物の減量・再利用についての市民啓発の内容等</li> <li>④その他廃棄物の減量・再利用に関し必要な事項</li> </ol> </li> <li>・構成員：活動組織代表、公募市民、事業者、学識者等</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみゼロ化推進会議 <ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物減量等推進員制度を改組</li> <li>・発足：2006年10月</li> <li>・役割：①ごみの減量啓発、適正排出 ②資源化、再利用の促進 ③まちの美化、清掃活動 ④方策の検討 ⑤各種キャンペーンへの参加など</li> <li>・部会：ごみゼロ化啓発部会、事業所部会、まち美化部会、</li> <li>・構成員：町会・自治会推薦や公募の市民</li> </ul> </li> </ul>
活動組織	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生ごみリサイクルサポーター連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発足：2009年3月</li> <li>・活動内容：2011年9月にダンボールコンポスト開発・発売、その普及活動</li> <li>・構成員：市民、行政</li> </ul> </li> <li>●ひの・まちの生ごみを考える会（まち生） <ul style="list-style-type: none"> <li>・発足：2002年5月</li> <li>・活動内容：生ごみ減量・資源化の啓発活動 “生ごみ減らそう！活かそう！大作戦”</li> <li>・構成：市民（行政も会議に毎回出席）</li> </ul> </li> <li>●まちの生ごみ活かし隊 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひの・まちの生ごみを考える会の下部組織</li> <li>・発足：2006年5月</li> <li>・活動内容：2008年9月にせせらぎ農園開設、その運営</li> <li>・構成員：まち生メンバー、周辺住民</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●廃棄物減量等推進委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発足：2000年</li> <li>・活動内容：ごみ減量・資源化の啓発活動 行政と協働して、ごみの分別体験説明会、3R講座を開催</li> <li>・構成員：3R講座受講者</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ごみ相談員制度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発足：2011年10月</li> <li>・活動内容：ごみゼロ化推進員の協力のもとに、市民のより身近で、ごみ分別・リサイクルを指導</li> <li>・構成員：ごみゼロ化推進員</li> </ul> </li> </ul>